あしつ育成だより 19

立教 185 年 5 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

特集　①教会長子弟育成者研修会開催
②あしつスプリングフェスタ

《親のことば》

「親のあと子が伝う」（明治26年６月21日）のではありますが、親がしっかりと道を通るだけでなく、節目節目には子供の成長段階に応じて、それにふさわしいしつけ、仕込みをすることをおろそかにしてはならないと思うのであります。

　そして、やがては信仰的にも自立して、どこにいても、しっかりとお道を通ることができるよふぼくに育てていただきたいと思います。

（立教 173年　婦人会創立100周年記念総会における真柱様お言葉より）

①教会長子弟育成者研修会　開催

子弟の育成に おぢばで過ごす機会をつくろう

教会長子弟育成者研修会は、教祖百三十年祭後にご本部から発表された「教会長子弟育成プロジェクト」に基づき、「教会に生まれた子弟すべてを、教会になくてはならない人に育てること」を目標に、教会長の意識向上と、さまざまな育成の手立てを考える機会として、立教 180 年から毎年開催している。今年はコロナの状況を鑑みて、各直属の育成責任者（直属教会長夫妻）のみの参加し、育成者としての意識を高める研修会とした。

3 月 24 日、大教会春季霊祭終了後、大教会で、「教会長子弟育成者研修会」を開催。

今年は、直前まで大阪府にまん延防止等重点措置が発出していたため、各直属の育成責任者（直属教会長夫妻）のみを対象し、４６名が参加しました。

最初に大教会長様のお話。本部勤務者や親里の学校に進学する子弟が減っていることに言及され、おぢばで学ぶことの意義について、中田善亮・表統領先生の「おぢばで生活をすれば、おぢばが本当の故郷になるから」とのお話を引き、「おぢばで過ごす、伏せ込むことは大切。そうした機会をつくっていくのが育成側の一つの役割」と述べられ、意識向上を促されました。（要旨を『眞明』628 号 4 月 16 日発行に掲載）

続いて、昨年 11 月に開催された「道の後継者の集いⅡ」の様子をまとめたビデオ『確かな未来のために』を視聴しました。

次に、山田道弘・育成部長が挨拶に立ち、「私たちの心一つ、理づくり一つで、どんな御守護を頂けるか分からない」「今の現状を諦めずに、思うところ、願うところの御守護を頂戴できるようなつとめ方を続けていくことが大切」と、育成する側の心構えを話しました。

最後に、梶川和人部員が教会家族名簿の更新と活用について説明し、研修会を終えました。

なお各直属教会に、今回の研修会を録画したＤＶＤを配布しております。各直属でもＤＶＤをご活用いただき、育成者研修会をご開催ください。

教会家族名簿の更新と活用について

毎年更新をお願いしている「教会家族名簿」ですが、「学生の進学や就職がはっきりと決まってからの回収」とのご意見を頂き、今年から配布と回収の時期を変更しました。

●名簿更新、活用の流れ●

Chapter 1
配　布
3/24　教会長子弟育成者研修会で直属教会に配布

Chapter 2
更　新
各教会で情報を更新した後、直属育成担当者が回収

Chapter 3
提　出
5/23　直属教会が取りまとめて大教会に提出

Chapter 4
活　用
各会総会や行事の対象者に声をかけ、参加を促す

教会家族名簿は、「大教会やおぢばで開催されるさまざまな育成行事の対象者を把握し、もれなく声をかける」ために、毎年の更新をお願いしています。学生たちは毎年学年が変わり、対象となる行事も変わります。また進学や就職などをきっかけに住所が変わる場合もあります。子弟一人ひとりの顔を思い浮かべながら、旬を逃さぬ丹精ができるように、各直属教会でしっかりと子弟の動向を把握していただきたいと思います。

芦津　道の後継者の集いⅢ

立教 187 年開催予定

2 年後の立教 187 年、「芦津　道の後継者の集いⅢ」を開催します。対象となるのは、昨年Ⅱの受講対象者すべてです。教祖百四十年祭に向かう三年千日の 2 年目になるため、「教祖にお喜びいただく成人を目指して、自分には何ができるのか」を意識し、行動に移すことが主たるテーマとなります。日程、内容などの詳細が決まりましたら、各教会へご連絡させていただきますので、次代を担う若者の年祭活動と位置づけてお声がけをお願いします。

●10 年単位で継続した丹精を●

教祖年祭から次の年祭までの 10 年間を一つの区切りと捉え、10 年単位で若年層育成を継続して行おうと、今後も年祭の 2 年後、5 年後、8 年後に「芦津道の後継者の集い」を開催します。

②あしつスプリングフェスタ開催リポート

行事を通して未来のようぼくを育てよう

3 月 27 日から 30 日までは、春の若年層育成期間「あしつスプリングフェスタ」。各会を中心にさまざまな行事を開催し、「未来のようぼく」の育成に心をかけています。
今年も 3 月 27 日の徒歩団参を皮切りに、28 日に春の学生おぢばがえり、29 日にわかぎの集い、30 日に少年会総会が開催されました。

3/27 HAPPY 徒歩団参

対象：13 歳から 22 歳までの若年層

3月 27 日、芦津学生会を中心に大教会からおぢばへの徒歩団参を実施しました。今年からは中学生も参加し、13 歳から 22 歳までの学生層32名、スタッフ17名、計49名が参加しました。

武波直輝・学生会委員長は「コロナ禍でなかなか繋がりが持てないので、徒歩団参をきっかけに多くの人と繋がりを持てるようにしよう」と挨拶。晴天の御守護を頂戴し、全員が無事に本部神殿まで歩きました。

3/28 春の学生おぢばがえり

対象：中学３年から大学・専門学校などの学生

3月 28 日、「次代を担うようぼくへ」をスローガンに、本部中庭で「春の学生おぢばがえり」が開催され、芦津直属隊として新たに高校に入学する学生を含む、23 名が参加しました。式典では、真柱様より道の学生に対してメッセージを頂戴しました。

その後、詰所でレクリエーション、昼食を済ませ、豊田山墓地に移動し、教祖や歴代真柱様、歴代大教会長様の墓前で参拝。斎場とその周辺で、落ち葉掃きひのきしんに汗を流しました。

3/29

わかぎの集い

対象：13 歳から 15 歳までの中学生

3 月 29 日、中学生を対象にした「わかぎの集い」が大教会で開催され、中学生 16 名、高校生、大学生スタッフ 12 名が参加しました。

午前は、座りづとめのおてふりを全員で練習した後、よろづよ八首のおてふりと、鳴物の基本練習を分かれて行い、参加者は真剣な眼差しで受講しました。

その後、学生会との和やかなゲームや趣向を凝らした会食、午後からは大阪城へ出向いて班対抗クイズ大会を行い、班ごとに親睦を深めながら、大いに盛り上がりました。

3/30

第50回記念少年会芦津団総会

対象：０歳から 15 歳までの少年会員

3月30日、少年会芦津団（加世田洋団長）は、大教会で第50回記念総会を開催。少年会員 140 名、育成会員 144 名、計 284 名が集まりました。

座りづとめ、よろづよ八首に分かれてのおつとめまなびから始まり、総会式典、成人門出式、お楽しみ行事が行われました。おつとめまなびでは、おつとめ衣を着けた少年会員が練習の成果を発揮し、勇んで勤められました。お楽しみ行事では、参道にピッキートランポリンが登場。大勢の少年会員が楽しみました。

また 50 回を記念し、神殿南側廊下に「少年会芦津団の歩み」と題した年表が掲示されました。この年表は「芦津大教会公式ホームページ」で閲覧できます。

8/28 青年会長様御臨席芦津分会総会

青年会

青年会芦津分会は、８月 28 日に中山大亮・青年会長様をお迎えして青年会総会を開催します。

この日に向かって、芦津に繋がる青年会員が、自分にできる世界たすけに勇ましく盛んに活動し、日々に成人の道を歩ませていただけるよう、スローガンを「世界へ躍動、日々成人」と定めて活動しております。

当日は、青年会員はもちろんのこと、夫婦、家族揃って大教会にお帰りいただき、賑やかに青年会長様をお迎えさせていただきましょう。

午前 10 時開会
おつとめ（３交替を代表者が勤めます）
式典（青年会長様より御告辞を頂戴します）
直会（お弁当を用意いたします）

8/23 夏休みあしつ親子参拝

育成部

立教 180 年より、「夏休みを利用して、８月の大教会月次祭に親子が揃って参拝しよう」という提唱から始まった「夏休みあしつ親子参拝」。今年の夏も、親子で大教会月次祭へ参拝しましょう。

7/26～8/28 夏休みこどもひのきしん

少年会

「夏休みこどもひのきしん」は、夏休みの間に、子供たちが楽しみながらひのきしんに励めるよう、後押しすることを目的とした取り組みです。7 月 26 日～ 8 月 28 日までの期間、おぢばでは帰参した子供たちのために、今年も「ひのきしんセンター」が設けられます。

立教 185 年 5 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部